

関西SDGsプラットフォーム(仮称)について

【参考資料 2 - 1】

- SDGsが、関西の民間企業、市民社会・NGO／NPO、大学・研究機関、自治体・政府機関にとって、将来の豊かな共生社会の創出や国際貢献のために、重要な取組みであることを広くアピールするとともに、各ステークホルダーの連携により、関西においてSDGsの達成につながる高い社会的価値を生み出す経済活動や持続的社会的構築に向けた活動を加速していくことを目的としたプラットフォーム
- 多様な参加者の自発的な取組を加速し、新たな連携を促進

主な活動内容



- ①【コア】シンポジウム、ワークショップ（ゴール別勉強会）等のイベント実施
- ②【コア】SDGsロゴ普及（使用希望者サポート）、独自ロゴ・バナー検討
- ③【コア】Webサイトの設置、SNSでの情報発信
- ④【コア】メディア向け発信
- ⑤【コラボ】参加団体イベントへの協力(イベント告知、ロゴ・マテリアル使用)
- ⑥【参加団体の活動紹介】Webサイト、SNSにて情報発信

活動期間

2020年度までを集中取り組み期間として活動

参加者

趣旨に賛同する関西圏の経済団体・民間企業、市民社会・NGO／NPO、大学・研究機関、行政機関・関連団体

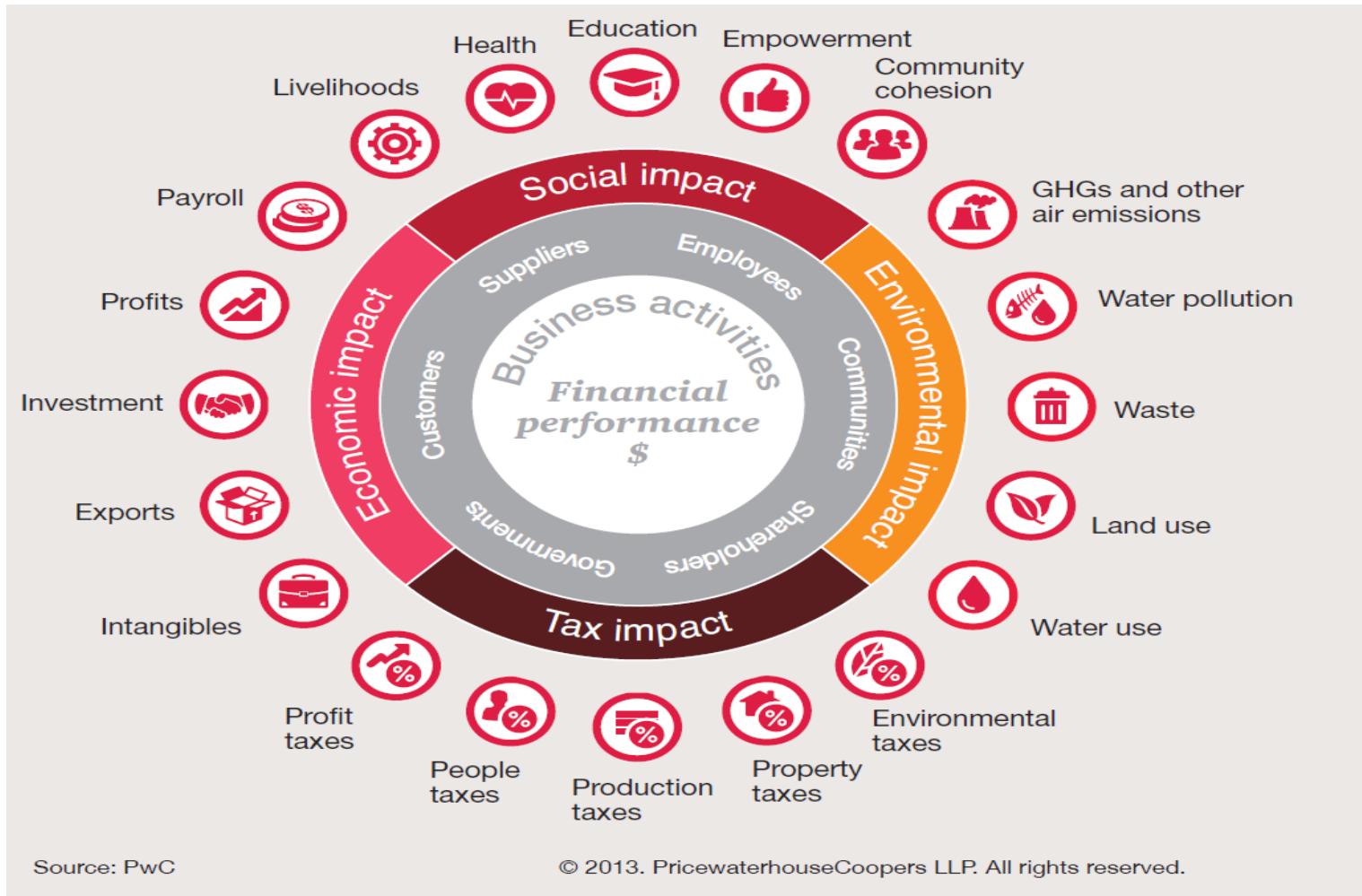
共同事務局

JICA関西・・・全体運営について包括的に対応
近畿経済産業局・・・全体運営、特に経済界・団体等に力点を置いて活動

PwCは、社会・環境・経済・租税の観点から、企業活動がもたらす様々なインパクトを貨幣的に測定してマネジメントする手法を考案している。

すなわち、その企業が社会（暮らし・健康・教育・権利向上・地域連携）、租税（環境税・資産税・生産関連税・雇用関連税・法人所得税）、経済（無形資産・輸出・投資・利益・給与）に与える主にプラスのインパクトと、環境（温室効果ガス・水質汚染・廃棄物・土地利用・水利用）に及ぼす主にマイナスのインパクトを図式化することにより、より社会的に望ましいビジネス戦略を導くものである。

PwCのインパクト・マネジメントの図式化



(出所) PwC HP (<https://www.pwc.com/gx/en/services/sustainability/publications/total-impact-measurement-management/total.html>) 参照。

大阪でコレクティブ・インパクトを促進するには

- 1、共通のアジェンダを作成するにはどうしたらよいか。
- 2、評価をどうするか。そもそも受け入れられるのか。
- 3、実はコミュニケーションがあまり取れていない？
- 4、強力な中間支援組織が必要。
大阪NPOセンターはそれになり得るか？
- 5、そもそもコレクティブ・インパクトは大阪に必要か？

ご清聴ありがとうございました。